

シンポジウム「災害対応システムの現状と未来」

日時：2015年1月23日（金） 10:30～12:30

会場：神戸国際会議場 401+402会議室

（神戸市中央区港島中町6-9-1）

参加費：無料

阪神大震災から20年の歳月が経ちましたが、東日本大震災や広島の土砂崩れ災害などではその経験が活かされたでしょうか。必ずまた発生するであろう災害に対する備えをすることが重要です。福島第一原子力発電所の事故の対応には、30～40年を要すると言われていています。直ちに役立つ技術開発のみでなく、長期的な視野に立った研究開発を推進することも重要だと考えます。本シンポジウムでは、災害対応システムの現状と未来について考えたいと思います。

是非ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

講演プログラム

10:30-11:30 講演1 「最新の建設ロボット研究開発の動向について」
（藤野 健一
（独）土木研究所 技術推進本部
先端技術チーム 主席研究員）

11:30-12:30 講演2 「レスキューロボット20年の歩みと未来への道」
（高森 年 ^{あした} 神戸大学名誉教授）

シンポジウム終了後、若手研究者・技術者を表彰する「第十回競基弘賞授賞式」を開催いたします。（13:30～16:10）

国際レスキューシステム研究機構
神戸市長田区二葉町 7-1-18 地域人材支援センター 1階
TEL: 078-641-2840 / FAX:078-641-2841
e-mail: info@rescuesystem.org